

子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査”独自設問”

(政策検討委員会 子育て教育事業研究部会からの提案分)

区分	独自設問(案)	設問の意図
未就学 就学	2.初婚年齢は何歳でしたか。 夫【 】歳 妻【 】歳	平均初婚年齢と第一子出生児の母の平均年齢の状況
	2-1.第1子出産時の母親の年齢は何歳でしたか。 【 】歳	晩婚化の傾向の把握と、それに伴う第一子出産年齢の上昇が生涯出生数に与える影響を探る。今後の出生数や多子世帯の推移予想を行うための基礎資料とすることを目的とします。 ※設問文は、厚生労働省「人口動態統計」を参考に作成しています。
未就学 就学	3.夫の休日の家事・育児の時間は何時間ですか。以下から一つ選んでください。	夫の家事・育児時間別にみた第二子以降の出生状況
	1.家事・育児時間なし	男性の子育てや家事に費やす時間を把握することで、第二子以降の出産への影響と相関関係について検証する。国が以前調査した結果では、1日あたり83分で、世界的に見ても最低の基準。父親学級等、父親の子育てへの関心や意欲の醸成につながる施策を検討する基礎資料とすることを目的とします。 ※設問文は、厚生労働省「第14回21世紀成年者縦断調査(2015)」を参考に作成しています。
	2.2時間未満	
	3.2時間以上4時間未満	
	4.4時間以上6時間未満	
5.6時間以上		
未就学 就学	4.第一子出産時の母親の就業状況についてお聞かせください。(当てはまる番号に○)	第1子出産前後の妻の就業変化
	1.就業継続(育児休業利用)	女性が出産・育児を理由に退職している割合を知ること、女性の出産・育児が就業へ与える影響を探ることを目的とします。 ※設問文は、国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査(夫婦調査)(2015年)」を参考に作成しています。
	2.就業継続(育児休業なし)	
	3.出産を機に退職	
	4.妊娠前から無職	
5.その他・不詳()		